

平成25年度富里市地域公共交通会議（第1回）会議録

日 時	平成25年6月17日（月） 午前10時～	場 所	富里市役所別館 大会議室
出席委員	石橋規委員，相川直雄委員，池田和弘委員，長谷川英利委員，村上亮委員，高田敏秋委員，佐々木努委員，丹さく子委員，今村泰弘委員（山崎一也氏代理出席），鶴澤尚夫委員，篠崎秀樹委員，高中正明委員（飯田謙二氏代理出席），中野善敦委員		
欠席委員	寒郡茂樹委員		
事務局	佐々木総務部長， 総務部企画課：大竹課長，相川副主幹，篠原主査補，池田主査補		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状の交付</p> <p>3. 議題</p> <p>（1）平成25年度の進め方について【事務局説明】</p> <p>「質疑・意見」</p> <p>【委員】 さとバス・デマンド交通の数値目標は設定するのか。</p> <p>【事務局】 後ほど、4月・5月の利用者実績について説明するが、まずはどのように評価するかを決定し、その後に、利用者数や登録者に対する利用者の割合等の数値目標を定めていきたい。</p> <p>【会長】 他に意見はあるか。それでは議題（1）については説明のとおり進めることでよろしいか。</p> <p>【委員】 一同承認</p>		

(2) 実証運行方法の利用実績について【事務局説明】

「質疑・意見」

【委員】

運行開始から2か月で内容を把握することは早すぎるのではないか。デマンド交通の利用者数については、ある程度の推移を把握できればつかんで頂きたい。費用対効果についても提示して頂ければありがたい。

【事務局】

運行開始2か月で実態をつかみきれていないのが実情である。市で考えている実証運行のスケジュールは半年単位でかなりタイトとなっている。市民や利用者の声については可能な限り把握したい。今後さとバスの利用者アンケートと、デマンド登録者のアンケートを行い、必要に応じた見直しを行いたいと考えている。次回の会議までに、アンケートや事業者との調整、意見の集約、利用者の推移、可能な限り費用をかけない効率的な方法で利用促進を行うことを目標に考えていきたい。

【委員】

現在の市の財政では費用を捻出することは難しいと考えるが、利用者がどの程度あれば、採算が取れると考えているのか。

【事務局】

目標値の設定については、ルート別には設定していないが、従前のさとバス利用者よりも伸ばしていきたいと考えている。ただし、費用対効果については、他の自治体の実績もあるように、採算をとるまでには至らないのが現状であるが、ある程度の目標値は必要なので、利用促進を含めて検討していきたい。

【委員】

利用促進を行うためには、目標値の腹積もりが必要であるとする。最低何人乗らないと採算が見込めるという考え方はないのか。

【事務局】

現在は実証運行の期間中であり、これから様々な要素を検証していかないといけない。デマンド交通については、登録者の年齢構成は把握できているが、例えば65歳以上の利用率等を検証していかないと、これを事業としてみた場合、どこにターゲットを置くのかがまだ明確にはなっていない。これらを実証運行の中で取り組んでいきたい。次の段階として、費用対効果、経費の考え方があると思っている。また、さとバスからデマンド交通に変更したことで、利用者の利用状況や利用ニーズをつかむ検証を行っている。デマンド交通は便数を増やしているが、費用は運行した分だけ事業者を支払う出来高制を採用することで、経費の節減を図っている。費用対効果を今の段階から表に出してしまうと、利用実態の把握やそもそもの補完交通という役割を見失ってしまうのではないかと考えている。経費節減により利益が見込めるようになれば、民間事業者に運行して頂くことも考えられる。1次～3次実証

運行を実施した後の本格運行の中で、費用対効果の考え方は提示できると考えている。

【委員】

今後、デマンド交通対象地区の人口や、延べ利用人数、収入等について提示して欲しい。

【事務局】

次回の会議に提示したい。

【会長】

他に意見はあるか。それでは議題（２）については説明のとおり進めることでよろしいか。

【委員】

一同承認

（３）第１次実証運行の評価方法について【事務局説明】

「質疑・意見」

【委員】

さとバスのアンケートについては特に問題ない。デマンド交通のアンケートについては、属性、利用頻度について確認できるようにしてほしい。また、他の自治体の事例であるが、デマンド交通を利用しない理由として、「予約が面倒である」、「相乗りすることに抵抗がある」とあるので、参考にして頂きたい。

【事務局】

属性や利用頻度については把握できるように変更したい。利用しない理由についても、必要に応じて項目を追加したい。

【委員】

利用しない理由は、複数回答にした方が良い。

【事務局】

Q3-3については、複数回答可と変更したい。

また、デマンド交通の属性は、登録者カードで把握できるので、それと照合できるようにしたい。

【会長】

他に意見はあるか。それでは議題（３）については説明のとおり進めることでよろしいか。

【委員】

一同承認

4. その他

【委員】

運行事業者から、運行の状況をお知らせしたい。デマンド交通は登録が前提であるが、利用者の方々はバスという認識であり、登録をしていないのに停留所にきてしまったという連絡が数名いた。

停留所には「富里市在住の方」、「利用登録された方」などの表記を行って頂きたい。

【事務局】

デマンド交通の周知については可能な限りわかり易く、また、乗降ポイントの表記については、今後も検討していきたい。

【委員】

利用者・住民アンケートを行うとのことであるが、運行事業者との連絡も密に行い、調整して頂きたい。

【事務局】

限られた時間の中で、連絡を密にして行っていきたい。

【事務局】

次回の会議はアンケート実施後の8月初旬を予定している。

5. 閉会

以上